

(様式3)

## 平成30年度 指定管理業務の評価表

### 1 施設概要

施設名	伊勢市ひまわり	所在地	伊勢市八日市場町13-1 伊勢市福祉健康センター1階
指定管理者名	社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会	指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日
設置目的	市民の福祉、健康、世代交流・地域交流等の活動の拠点施設として、社会福祉活動の輪を広げるため		
業務内容	就労継続支援B型事業の一切に関すること 就労継続支援B型を行う事業については、生活指導及び作業指導を行い、利用者の社会的自立、生活意欲の向上を図るように支援すること。また、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者及び家族の立場に立ったサービスを提供すること。		
施設概要	本棟 昭和63年3月完成(開館は昭和63年4月) 敷地面積6,015㎡(駐車場、緑地等含む)、建築面積(延床面積)4617.01㎡(うち本棟4407.58㎡) 本棟 鉄骨鉄筋コンクリート造4階建て 本棟 1階(1718.75㎡) 総合事務室、相談室、ボランティア室、社会適応訓練室、日常生活訓練室、調理実習室、伊勢市ひまわり、和室、個別指導室 等		
職員体制	管理者 1名(兼務) サービス管理責任者 1名(常勤専従) 職業指導員 1名(常勤専従)(介護福祉士) 生活支援員 2名(常勤専従1名、非常勤専従1名) 目標工賃達成指導員 1名(常勤専従)		
施設所管課名	障がい福祉課		

### 2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)
		平成28年度	平成29年度	平成30年度	比較(C-B)
事業 収支	収入				
	指定管理料	1,707,000	1,682,000	1,682,000	0
	利用料金	22,976,040	27,106,200	28,266,640	1,160,440
	その他	1,334,486	1,514,447	1,626,257	111,810
	計(a)	26,017,526	30,302,647	31,574,897	1,272,250
	支出				
	人件費	14,996,794	13,631,303	13,478,312	△ 152,991
管理運営費	3,844,925	4,435,879	3,143,439	△ 1,292,440	
その他	29,626,496	26,156,000	2,385,295	△ 23,770,705	
計(b)	48,468,215	44,223,182	19,007,046	△ 25,216,136	
収支差引額(a)-(b)		△ 22,450,689	△ 13,920,535	12,567,851	26,488,386

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	利用延べ人数の増加に伴い利用料金収入増となった。
----------------------------------	--------------------------

### 3 評価 (別表様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
障害者計画相談支援事業所との連携により、利用者1名の増員、在籍利用者の利用日増加で1日平均利用者が昨年度より増加した。  満足度調査を行い、利用者のニーズに沿った事業の展開ができた。  工賃向上計画に沿い、利用者の時給を10円アップすることができた。	施設の管理については適正に行われており、平成30年度は前年より利用者増加となっており、評価できる。 地域住民等との交流を積極的に行っていること、イベントに出店し、PR活動を行っていることについても評価できる。 なお、平均工賃については、今後も更なる工賃向上に努めてもらいたい。

指定管理者	市
伊勢まつり、航空祭、厚生ふれあいまつりなど地域のイベントに出店することが出来た。	

(様式4)

## 指定管理業務の項目別評価表

		施設名		伊勢市ひまわり			
評価項目		評価					
		指定管理者		市			
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由		
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	A	施設の目的・基本方針を理解し管理を実施した。	A	施設の設置目的や基本方針を理解し、サービスを提供していたと思われる。		
	②施設設置目的の達成度	A	管理運営を通じて「障がい者の就労、生活交流場所の提供」に資することが出来た。	A	施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的は達成できたと思われる。		
	③利用者数	A	利用延べ人数が3,672人となり、前年度から380人増となった。利用者登録が21人となり、前年度から1人増となった。	A	利用者増となっており、目標を達成した。		
	④運営状況	A	事業計画書の通り供用日数・時間に達し、適切な運営が出来た。	A	事業計画書に計画された運営が行われ、適正な施設運営と思われる。		
	⑤職員の配置状況・勤務実績	A	作業責任者・業務担当者を明確にし、適切な配置をした。適正な勤務実績であった。	A	職員の配置状況・勤務実績は適正であったと思われる。		
	⑥意思疎通	A	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	毎月の実績報告は適切に行われていた。		
	⑦各種管理記録等の整備・保管	A	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がなされており、月報・年報にて報告がされていた。		
	⑧地域の振興	A	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図られていたか。	A	伊勢まつりやまちづくり協議会等のイベントへの出店参加をし、地域との交流・連携に取り組んだ。	A	地域交流を積極的に実施していた。
	⑨使用許可等	—	—	—	—	—	
	⑩利用料金等の徴収状況	A	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	各種帳簿は漏れなく適正に作成した。	A	適正に行われていた。
	⑪個人情報	A	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	取り扱いについては慎重にし、担当者が保管管理のチェックを月に1回程度行った。	A	個人情報漏洩などの問題も発生しておらず、適切に行われていたと思われる。
	⑫法令遵守	A	関係法令を遵守していたか。	A	各法令の講習会等に参加し、ミーティングを通して全職員で理解し順守した。	A	法令違反は見受けられなかった。

(様式4)

## 指定管理業務の項目別評価表

		施設名		伊勢市ひまわり	
評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	計画相談支援事業所との連携で1名の新規利用者と契約した。	A	前年度と比べて利用者数が増加しており、具体的な取り組みが行われていたと思われる。
	②利用者の平等な利用	A	日々のミーティングや月1回の職員ミーティングで、情報の共有を密にしサービス水準の安定した確保に努めた。	A	サービス水準については、期待される水準にあった。
	③適切な情報提供	A	毎月の予定表、各行事の詳細連絡等を配布し情報提供を行った。	A	毎月、予定表を発行し、利用者及び家族への情報提供を行っていた。
	④非常時・緊急時の対応	A	緊急時のマニュアル整備のもと、緊急招集訓練を実施した。	A	緊急時を想定したマニュアル整備、避難訓練を実施するなど、適切に行われていた。
	⑤苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	利用者からの意見・苦情等を受けて、迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたと思われる。
	⑥自主事業	A	利用者ニーズに即した自主事業が行われていたか。	A	利用者ニーズに即した自主事業が行われており、工賃についても向上した。
	⑦事業の評価	A	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	見直し等は行っているが、それをどこまで次年度に反映させるかが課題と思われる。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	月に1回程度の安全点検と定期的な機能確認、美観確認を行った。	A	毎月、安全点検等を適切に行い、月報にて報告されていた。
	②備品等の管理	A	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。	A	破損や紛失がなく、適正に管理されていた。
	③修繕業務	A	点検によって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	毎月、点検を行い、月報により適切に報告されていた。
	④清掃業務	A	清掃業者による毎日の清掃と定期清掃、必要に応じて職員で清掃を行った。	A	清掃は適切に行われていた。
	⑤防犯体制	A	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	防犯に関する問題はなく、鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切であった。